

2. 重点整備地区の選定

2.1. 重点整備地区の要件

重点整備地区の選定に際しては、1日の乗降客数が5,000人以上（または高齢者、身体障害者等の想定利用者数が国の算定値以上）の旅客施設（特定旅客施設（下表参照））を中心とした地区を対象に、交通バリアフリー法第2条7項で示される重点整備地区の要件（「施設の分布（配置要件）」「事業実施の必要性（課題要件）」「事業の効果（効果要件）」）を勘案し、地域の実情をふまえ、重点整備地区を選定する。

- 配置要件（施設の分布）：特定旅客施設から徒歩圏内にあり、相当数の高齢者、身体障害者等が利用する施設の所在地を含む。
- 課題要件（事業実施の必要性）：移動経路を構成する施設等についてのバリアフリー化が図られていない現状に着目して事業の必要性によって範囲を計画する。特定旅客施設、一般交通施設及び公共用施設について高齢者、身体障害者等の利用の状況及び既に行われたバリアフリー化のための事業状況から総合的に判断する。
- 効果要件（事業の効果）：他の地区に優先して、かつ各事業の整合性を確保してバリアフリー化のための事業が実施されることが、高齢者、身体障害者等に交流と社会参加の機会を提供する機能など、重点整備地区のみならず都市が全体として有する様々な機能の増進を図る上で、有効かつ適切であると認められる。

●特定旅客施設の要件整理

熊本市内 主要旅客施設	(1)1日あたり の平均利用者	(2)旅客施設 を利用する高 齢者数(人)	(3)旅客施設を 利用する身体 障害者数(人)	備考
国の算定値	5,000	865	145	高齢化率17.3% 身体障害者率2.9%
J R				
上熊本駅	4,963	809	169	
熊本駅	22,532	3,673	766	
新水前寺駅	4,499	733	153	
武蔵塚駅	4,168	679	142	
市 電				高齢化率16.3% 身体障害者率3.4%
熊本駅前電停	5,749	937	195	
辛島町電停	5,395	879	183	
通町筋電停	6,875	1,121	234	
健軍町電停	6,682	1,089	227	
バ ス				
交通センター(※1)	60,000	9,780	2,040	
通町筋バス停(※2)	12,602	2,054	428	

■：特定旅客施設の要件に該当

※1:熊本市オムニバスタウン計画策定調査報告書(平成11年1月)より
 ※2:お城の見えるよか通り協議会資料より(平成14年3月18日(月)調査12時間値)

2.2. 重点整備地区の選定

熊本市内の上記の旅客施設のうち、特定旅客施設に該当する6地区（熊本駅周辺地区、上熊本駅周辺地区、新水前寺駅周辺地区、辛島町電停周辺地区、通町筋電停周辺地区、健軍町電停周辺地区）について、重点整備地区の要件との適合性、高齢者、身体障害者等への調査結果および目標達成の可能性等を総合的に勘案し、「**熊本駅周辺地区**」、「**健軍町電停周辺地区**」を重点整備地区として選定する。